

田川市水道事業 中期経営計画を 策定しました

田川市水道事業では、平成27年度から平成31年度までの5年間の経営に関する計画をまとめました。この計画は、国が定める「新水道ビジョン」など、さまざまな取り組みに基づいて今後の水道事業運営の方針などについて定めたものです。

本市の水道事情

水道事業は、利用者に安全な水を安定的に供給するため、増え続ける水需要に対応して、これまでさまざまな取り組みを行ってきた。その結果、今では蛇口から直接飲むことのできる「水道」として産業経済活動を支え、生活に欠かすことのできないライフラインとなりました。

しかし、近年の節水型社会の進展や経済不況の影響により水需要の伸びは鈍くなり、今後、大幅な増加も見込むことができない状況です。さらに「おいしい水の供給」や「環境への配慮」など、水道事業を進めていく上で検討しなければならぬ事項はますます多様化、高度化しています。

このような中、本市の水道普及率はおおむね100%となり、成熟期を迎えています。そのため、建設投資の内容も新規拡張から既存施設の改良へと移行し、まさに維持管理の時代を迎えている状況にあります。

今後は、こういった時代や環境の変化などから生じた重要課題に的確に対応し、さらなる管理の効率化やコスト縮減、事業の広域化を進めていかなければなりません。そのためにも、持続可能な事業運営に努め、利用者からの信頼を保持しながら安定的な水供給サービスを行うことができるように、事

業経営計画を策定し、経営の安定化を推進していきます。

本市が抱える主な重要課題

- ①人口減少や節水型社会の影響により水需要が低減し、給水収益の持続的増加が期待できない
- ②既存施設の経年劣化による更新改良、水質基準の厳格化などの収益増加につながらない経費の増大
- ③民間活力の導入などの施設運営体制の検討

事業経営計画の主要施策

田川市第5次総合計画に基づき、次の3つの重点項目について対策を実施します。

- (1)漏水防止対策
水道管が老朽化し、多くの水道水が漏水により失われています。このことは、本市に限らず全国的な課題です。現在も水道局職員により漏水調査を行っています。さらに拡大し、民間業者による調査を行っていきます。
- (2)民間委託の推進
また、正確な漏水量を把握するため、水道施設ごとに配置している流量計の点検や新設を行います。
- (3)民間委託の推進
本市の水道水は、市内2か所の浄水場と田川地区水道企業団の浄水場でつくられています。

現在、市内2か所の浄水場は、水道局職員により運転・管理が行われています。この運転管理業務

について、平成30年度を目標に民間委託化の方向で検討します。

(3)設備更新計画

現在稼働中の浄水場や配水池などの施設や水道管施設の多くは、水道事業創設・拡張期の昭和40年代以前に整備されたものです。

これらの施設の中には、老朽化により簡単な修繕では機能が復旧できないものもあります。そのため、今後も継続して、水道管の布設替えや施設の改良などの対策を行います。

これからの水道事業

重点項目以外にも、災害などの危機管理対策や未収金対策、田川地域広域的な水道整備計画の推進など、さまざまな課題があります。これらについても継続して効率的な実施や見直しなどの対策を行い、健全な事業運営を目指します。

また、前述した設備更新については、老朽化による更新対象施設が多く、実際の更新改良が間に合っていない。このことも本市だけでなく、全国的に多くの自治体が抱えている問題のひとつです。

現在の更新改良は、国の補助事業である設備の耐震化にあわせて実施していますが、これからも多くの費用が必要です。この財源については、引き続き国などに補助事業拡充を要望していきます。安易に水道料金の値上げとならないよう努力していきます。

[参考]

■水道事業における収支見込み

(単位：千円)

		25年度 決算	26年度 見込	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
収益的収支	経常収益	1,156,407	1,106,755	1,104,118	1,099,238	1,101,151	1,099,599	1,100,012
	経常費用	1,028,430	995,368	953,659	982,533	937,176	972,485	999,794
	経常損益	127,976	111,387	150,459	116,705	163,974	127,114	100,218
資本的収支	資本的収入	126,706	123,882	190,570	190,236	190,856	190,875	191,000
	資本的支出	567,751	539,249	504,816	526,247	509,424	530,870	521,606
	差引過不足額	△441,045	△415,367	△314,246	△336,011	△318,568	△339,995	△330,606

※表中の数値は端数処理を行っているため合計などが一致しないことがあります。

用語説明

収益的収支・・・水をつくるための予算

水道水を提供するため、浄水場で水をつくり、市内の配水管を通してみなさんに届けています。これに要する電気料や薬品費、人件費などの経費は、みなさんからの水道料金でまかっています。このような営業活動にかかる収支を収益的収支といいます。

資本的収支・・・施設をつくるための予算

水道水を届けるために必要な浄水場や配水管などの施設整備に要する費用は、国からの補助金や借入金でまかっています。このような設備投資にかかる収支を資本的収支といいます。

● 料金は納付期限内に

水道事業は、みなさんからの水道料金によって運営されています。料金の納付期限を過ぎると、督促状などに経費が掛かってしまいます。料金の支払いは納付期限内にお願いします。支払い忘れもなく、便利な口座振替をぜひ利用してください。

● 漏水を見つけたらお知らせを

漏れた水道水は無駄になってしまいます。道路などで漏水を発見したら、水道局へお知らせください。

田川市水道事業中期経営計画の全文は、市ホームページに掲載しています。